

# 議事録

議 題	令和4年度 第4回牛久市スポーツ推進審議会
日 時	令和5年3月17日(金) 14:00~14:50
場 所	ひたち野リフレビル4階 第3会議室
出 席 者	牛久市スポーツ推進審議会委員 8名(内、2名はリモート参加) 事務局(牛久市教育委員会スポーツ推進課) 5名 (※傍聴人無し)
<p>1. 開会</p> <p>2. 磯山委員長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 牛久市スポーツ推進計画素案の検討について</p> <p>令和5年2月10日(金)から令和5年3月10日(金)まで実施したパブリックコメント及び庁内からの意見をもとに第3回審議会時の計画書からの変更点を説明。パブリックコメントについては2件のご意見があり、手軽に参加できるスポーツイベントとして年齢・性別・運動神経・障害の有無に関わらず誰もが楽しめる「ゆるスポーツ大会の開催」の要望及び子供が気軽に利用できる屋内施設の整備の要望があったことを説明した。ゆるスポーツについては第4章 施策の展開「スポーツプログラムの提供と実施支援」の中に含め、子供が気軽に利用できる屋内施設の整備については同じく第4章 施策の展開中の文言「多目的利用に配慮した施設整備の推進」の中に含めて検討していくことを説明。</p> <p>(金澤委員) ゆるスポーツの実施は良い意見だと思います。プロスポーツの現場でお力添えいただきながら実施できればと思います。</p> <p>(立石委員) 同様の意見です。</p> <p>(木村委員) 「オンラインキャッチボール全8回」の動画配信についてアピール等はされましたか。また、見ている方は多いのですか。</p> <p>(高橋次長) ホームページ等で広報しましたが広報誌には載せていません。それなりに見ていただきましたがそれほど大きな反響ではありませんでした。</p> <p>(木村委員) どういう教え方をしているのか内容が気になりました。</p>	

(事務局) プロジェクターで「オンラインキャッチボール」の映像を投影しご確認いただきました。

(吉田部長) 【新聞記事を提示】投げられない子供たちが多いとの問題意識の中で、令和4年9月13日のイースタンリーグの開催に合わせて3か月間投げる練習を行いイースタンリーグ開催当日に成果発表を行いました。読売新聞に記事として取り上げていただきました。内容としてご確認いただければと存じます。

(木村委員) どのような経緯で行ったのですか

(吉田部長) 牛久市と日本ハム及び7市で連携したプラットフォームの中に筑波大学の松田先生をアドバイザーに迎え、産官学みんなで連携していく中で牛久市としての問題意識を示して提案したことを取り上げていただいた形です。

(磯山委員長) 計画の中に問題提起や検討内容を書かれていますが具体的な取り組みや他課との連携についてお示しいただきたい。

(高橋次長) 介護予防体操を例にすると、これまでは単純に場所を貸している状況でしたが、情報をスポーツ団体に提供し呼びかけるなど一緒に取り組んでいければと考えます。

(吉田部長) 行政として柱となる考え方の整理をし、さまざまなご意見を施策の中で位置づけ議論していくことが行政の在り方だと考えます。

(磯山委員長) グラウンドゴルフの道具が高価でやりたくてもやれない人がいます。道具の貸し出し等も必要かと思います。部長の言われたとおり議論する機会が必要だと思います。

(唯根勉委員) ヘルシーボールを体育協会を導入したがゆるスポーツでなく競技スポーツになってしまう。在り方を考えることも必要。計画は継続性が必要です。

(木村委員) スポーツはどうしても勝負にこだわってしまう。子供にはスポーツの楽しさを教えるべきではないでしょうか。

(小島委員) 誰もが気軽に足を運べるスポーツ施設があると良い。ボルダリング、釣り

やキャンプなど遊びの要素を取り入れて、誰もが楽しめる施設になればと思います。遊びからスポーツにつながれば良い。アクセス手段の検討も必要です。

(吉田部長) 子供たちの最初の取り組みとして遊びの要素は必要だと思います。

投げるプロジェクトも最初の 5 回はただの遊びです。その後、3 つの選択肢（早く投げたいのか、遠くに投げたいのか、正確に投げたいのか）の中から目標意識を持って取り組んでいきます。

(事務局) プロジェクターで「投げるプロジェクト」の映像を投影しご確認いただいた。

(磯山委員長) スポーツは人数が集まらないと出来ない訳ではありません。一人でも楽しめる遊具的な設備があっても良いと思います。イベントに遊びの要素を取り入れ、子供たちや大人たちが一緒に遊べるような空間があれば良いと思います。

(木村委員) 以前、学校開放施設はなぜ 10 人以上集まらないと借りることが出来ないのか質問しました。当時の担当からは納得いく返答はありませんでした。現在は少子化が進んでいます。10 人集めるのは難しくなっています。人数については検討いただきたいと思います。スポーツの苦手な方が集まって楽しみたいというニーズもあると思います。行政で手段を考えていければ良いと思います。

(鶴長委員) 子供たちの遊べる公園や施設が増えると良いと思います。

(小島委員) 地域部活動移行の開始は延期になったのでしょうか。

(高橋次長) 国からは令和 5~7 年度を改革の集中期間とし、その間に実証実験を行い、令和 8 年度から進められるところから進めるようにとの通知が来ています。

ただし、県では 8 年度から休日の部活動を移行する目標を掲げています。

(橋場委員) 牛久地区でコミュニケーションと健康づくりを兼ねて各種事業を行っています。運動会については参加者が減少しています。人数を集める手段の検討が必要です。

(吉田部長) プロスポーツ団体と連携しながら着実にスポーツの推進を進めております。

今回、計画策定のためにお集まりいただきましたが、今後は計画の進捗管

理が重要です。今後もご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

(磯山会長) 皆で審議しながらスポーツの推進を進めていきたいと思ひます。

4. 閉会